

令和5年度進行管理・評価シート  
添田町 歴史的風致維持向上計画(平成26年6月23日認定)  
(最終変更 令和4年2月25日)

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1. 法定協議会及び支援連携体制について ----- 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1. 添田町景観計画の策定、添田町景観条例の施行 ----- 2

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1. 英彦山神宮参道保存整備事業・  
英彦山神宮参道修景整備事業 ----- 3
2. 中島家住宅活用整備事業  
(添田本町等地区憩い広場整備事業・トイレ棟等整備事業、庭園基本設計事業) ----- 4
3. 中村家住宅保存活用整備事業 ----- 5
4. 英彦山区域歴史的風致形成建造物修理事業・  
添田本町等区域歴史的風致形成建造物修理事業 ----- 6
5. 添田公園整備事業 ----- 7
6. 公共施設修景整備事業 ----- 8
7. 案内板等整備事業 ----- 9
8. 普及啓発イベント事業 ----- 10
9. 歴史的古文書保存活用事業 ----- 11
10. 民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業・  
まちづくり団体設立支援事業 ----- 12
11. 児童・生徒に対する意識向上推進事業 ----- 13

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1. 民間団体への助成・支援 ----- 14
2. 町指定文化財(史跡)の指定 野田の高札場 ----- 15

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)

1. 町広報「歴まちコラム」他 町内歴史文化に関する報道 ----- 16

⑥その他(効果等)(様式1-6)

1. 「添田町歴史的風致維持向上計画」掲載事業の進捗状況 ----- 17

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) ----- 18

	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
項 目		
法定協議会及び支援連携体制について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

本計画の推進、実施にあたっては、計画策定時同様にまちづくり課文化財係が事務局を担い、歴史まちづくり法第11条に基づく添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会において計画推進や計画変更、円滑な事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進することを基本とする。  
 計画の推進や事業の実施に際しては、国や福岡県の指導を仰ぎながら、庁内の関係各課との連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議の上、一体となって事業を推進する。

定性的・定量的評価

令和5年度においては、法定協議会である『添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会』を、令和5年11月28日、令和6年1月15日(書面開催)、3月26日の計3回開催し、指導・助言を仰いだ。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

法定協議会『添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会』の開催状況

開催日	審議内容
第19回 令和5年11月28日	(1).【協議】添田町歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定について (2).【協議】添田町歴史的風致維持向上計画(第1期)の最終評価について (3).【報告】今後のスケジュールについて (4).【報告】添田町景観計画について
第20回 令和6年1月15日	(1).【報告】パブリックコメントの実施結果について (2).【報告】文化庁調査官からの指摘事項について
第21回 令和6年3月26日	(1).【協議】第1期計画の最終評価について (2).【協議】第2期計画の認定について (3).【協議】添田町景観計画の策定について (4).【協議】令和5年度実施事業の進行管理・評価について



第19回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R5.11.28開催)



第21回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会 (R6.3.26開催)

令和5年度進行管理・評価シート  
重点区域における良好な景観を形成する施策

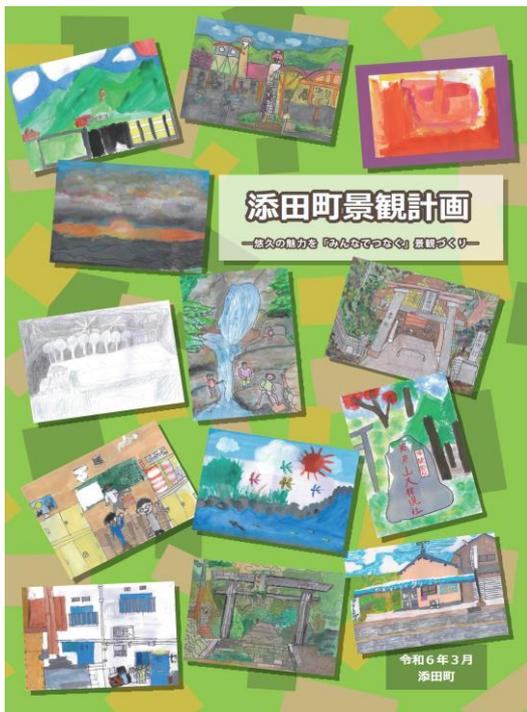
項	目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
	添田町景観計画の策定、添田町景観条例の施行		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本町の山間地域は英彦山をはじめとする豊かな自然に囲まれた集落景観、麓の添田駅周辺は中低層の市街地景観が形成されており、引き続きこれらの景観を維持していく。  
 特に、重点区域として設定されている英彦山区域や添田本町等区域は、脈々と受け継がれてきた固有の景観を後世に継承していくため、歴史・文化を尊重した景観形成を図ることが求められる。  
 令和3年度中に景観行政団体へ移行済みであるため、令和4年度より景観法に基づく景観計画を策定する。

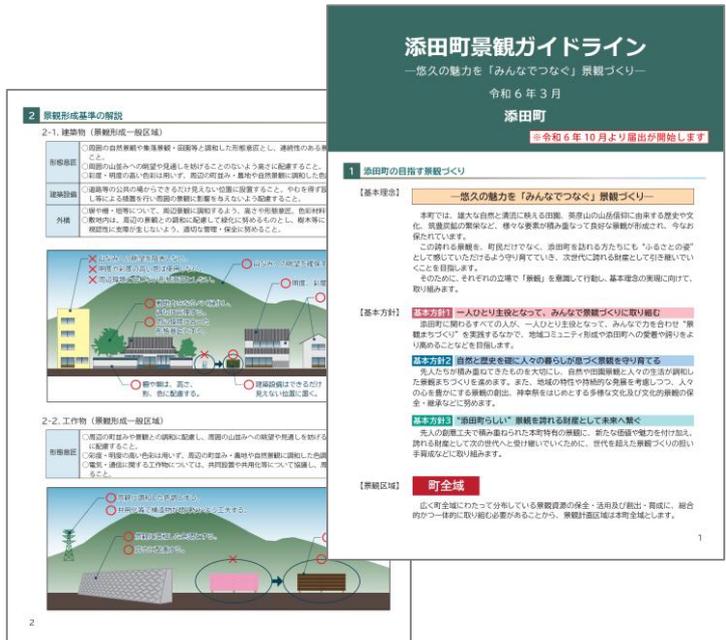
定性的・定量的評価  
 「景観計画」の策定に向けて、庁内関係課の課長及び係長による協議・検討を行うとともに、有識者等により構成される「添田町景観計画策定委員会」を3回開催し、景観計画を策定し、「添田町景観条例」とともに令和6年3月に公布施行した。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本計画・条例は策定・施行できたが、届出を要する行為の運用が令和6年10月から始まるため、その間、本計画等の適切な運用に向けて、更なる周知を図っていく。

状況を示す写真や資料等



策定した「添田町景観計画」の表紙



添田町景観ガイドライン【抜粋】



【第4回 庁内全体会議】(R5.4.25開催)



【第5回 景観計画策定委員会】(R6.2.21開)

令和5年度進行管理・評価シート

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項	目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
英彦山神宮参道保存整備事業 ・ 英彦山神宮参道修景整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容  
**【英彦山神宮参道保存整備事業】**  
 町道英彦山線である英彦山神宮参道の石段や石塔等の工作物の保存整備を行う。  
 また、これらの保存に影響を及ぼす、参道沿いなどにあるツツジ等の樹木の間伐を行うとともに、小広場の整備を行う。  
**【英彦山神宮参道修景整備事業】**  
 英彦山神宮参道にあり、景観を阻害している水道パイプの地中化や歴史的景観を尊重した色彩を用いた消火設備に修景整備する。

定性的・定量的評価

工事内容については、予定どおり施工(10/11～3/25)。  
 令和4年度施工分の地先である銅鳥居付近から国道500号接合部までの延長77.4mの保存・修景整備を実施した。

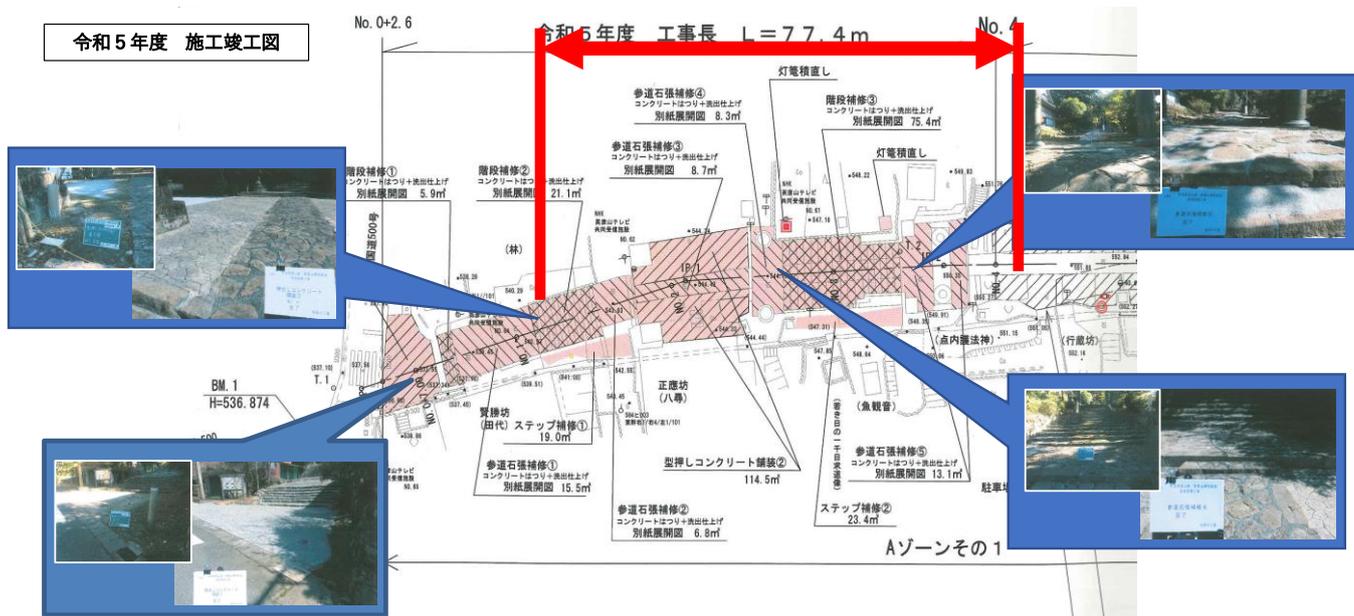
町道英彦山線整備工事	型押しコンクリート:A=168㎡、階段補修:A=102.4㎡、参道石張補修:A=52.4㎡、ステップ補修:A=42.4㎡
町道英彦山線ストリートファニチャー整備事業	灯籠補修=2基、鉄筋コンクリート製テーブルベンチ取壊し:V=0.5㎡

本年度の施工をもって、当該事業を終えることができ、周囲の荘厳な雰囲気への修景を図れただけでなく、歩行者や散策者の安全な通行に寄与することができた。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

本年度工事長 約77.4m【総工事完了(R5を含む)長:885.2m/全体(885.2m)=完了率:100.00%】



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項 目		現在の状況
中島家住宅活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 策定した保存活用計画に基づき、文化財未指定の蔵や庭園等と併せて、駐車場等の便益施設の整備を実施する。また、円滑な公開活用のために、施設説明板等の整備とパンフレットの作成も併せて行う。

定性的・定量的評価

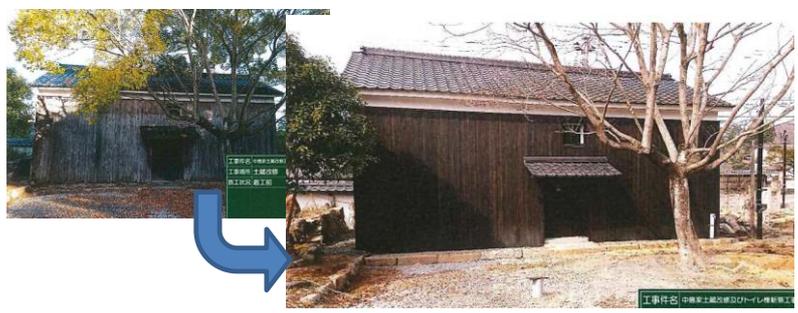
管理予定者等の調整により、年度を繰り越しての施工となった添田本町等地区憩い広場においては、文字通り近隣住民等から好評を得ており憩いの場となっている。  
 また、前年度に行った実施設計に基づき施工した土蔵の管理・倉庫棟への改修及びトイレ棟新築工事については、“国指定重要文化財”の便宜として風格あるトイレ棟を設置することができ、来館・利用者から好評を得ている。  
 また、庭園について、令和7年度の”風情ある庭園整備が行えるよう、中島家住宅指定管理者や近隣住民などとの意見交換を図りながら、庭園基本設計に取り組んだ。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和6年度においては、より指定管理者や近隣住民及び関係者との意見交換等を図り、令和5年度に取り組んだ庭園基本設計を周到した実施設計を行い、令和7年度での庭園整備を施工し、中島家住宅への来訪者増等により、周辺地域の活性化を図る。

状況を示す写真や資料等



整備した憩い広場



トイレ棟新設、管理・倉庫棟改修工事

- (上左)トイレ棟外観
- (上右)内部(多目的用)
- (中左)管理・倉庫棟改修前外観
- (中右)管理・倉庫棟改修後外観



庭園測量基本設計事業

- (上左)測量平面図
- (上右)整備イメージ図



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項 目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
中村家住宅保存活用整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成31年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町が所有(平成23年取得)する「町指定文化財 中村家住宅」を、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理や公開活用のための整備を実施する。  
また、円滑な公開活用のため、施設説明板等の整備とパンフレットの作成も併せて行う。

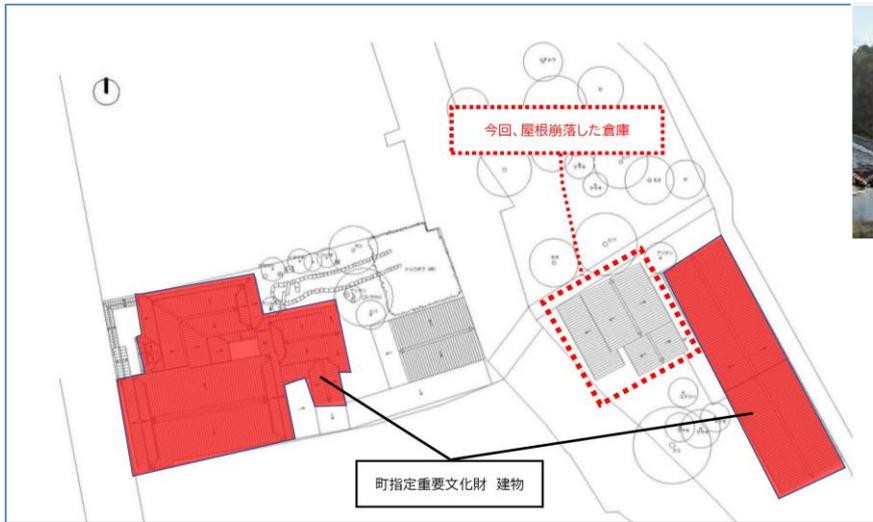
定性的・定量的評価

保存整備後の活用方針が見いだせなかったことから、保存修理工事に着手できないまま定期的な状況確認のみ行っていたが、経年劣化により令和5年6月15日に未指定の蔵が倒壊した。  
倒壊した蔵については、損傷が著しかったことから町指定文化財の指定を見送った経緯のある建造物であるが、指定されている建造物においても年々劣化・損傷が進行しており、周辺住民の安全確保を図るためにも、早期での保存修理等を施す必要がある。

令和2年度に「サウンディング型市 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない
 今後、当面の維持が可能となるための、補修の実施について検討を行いつつ、活用方針等の検討を引き続き行っていく。

状況を示す写真や資料等



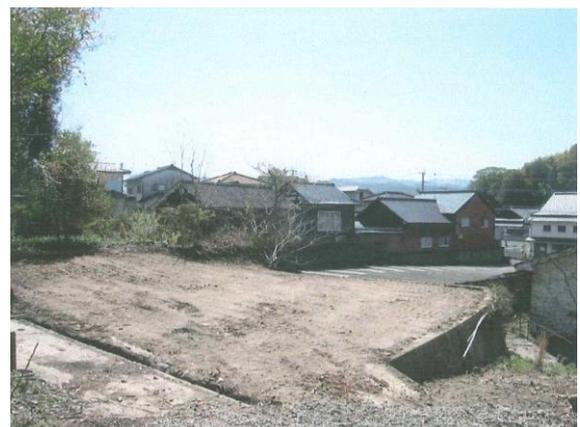
中村家住宅の建造物配置図



倒壊前(上)と倒壊直後(下)の様



倒壊した蔵



撤去後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項 目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
英彦山区域歴史的風致形成建造物修理事業・ 添田本町等区域歴史的風致形成建造物修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 英彦山区域・添田本町等区域に所在し、歴史的風致形成建造物の指定方針に基づき指定した「歴史的風致形成建造物」にあって、所有者等において保存修理を実施した場合、その修理に対し助成金を交付し支援する。

定性的・定量的評価

昨年度同様、候補建造物所有者と面会した際には、第2期計画期間中の早期の実施活用に向けて説明・理解を求めた。また、英彦山区域においては、宿坊の復活への期待・機運が一層高まったことから、町や神宮、そして関係者によって、宿坊復活の手法等の協議が開始され、宿坊の復元復旧整備にあっては、本事業の活用も、手法の一つとして検討されている。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

2期計画期間の早期での本事業の活用を目指し、引き続き所有者に対し理解を求めていく。  
 なお、英彦山区域における宿坊復活にあたっては、営業利益を伴うことが想定されるため、**制度の整理・本事業の活用を推進し、状況を示す写真や資料等**

英彦山分散型宿坊ホテル  
事業計画書

コンセプトによる旅の高付加価値化

KEY CONCEPT  
**自に向き合う旅**  
修験道の根底にあるもの  
人 → 自然との共生 → 自然  
自然に向き合う  
自分に向き合う



「体験」の高付加価値化 「滞在空間」の高付加価値化 「食」の高付加価値化



5. プロジェクトによる効果

通過型観光から滞在型観光へ

これまでの日帰りでの通過型観光から長期間を含む滞在型観光を実現することにより、  
 ①長期滞在することによる経済効果の上昇  
 ②地域のことを深く知ってもらうことで、ファンになってもらいやすくなる  
 ③これまで観光資源として活用されなかったことや注目されてこなかった地域固有の資源が発掘され、新たな雇用や観光客の呼び込みにつながる

高付加価値旅行者誘致によるシャワー効果

これまで誘致できていない高付加価値旅行者を開拓することにより、  
 ①旺盛な旅行消費を通じ、地域の観光産業の成長のみならず、多様な産業にも経済波及し、地域経済が活性化される。  
 ②旺盛な知的好奇心を伴う文化消費を通じ、地域の伝統、文化、歴史等が支えられ、持続可能な地位が実現される。  
 ③観光地としての提供価値やブランド力が向上することで、高付加価値旅行者以外の幅広い旅行者の誘客拡大にもつながる。



「高付加価値旅行者」→地域の伝統、文化等の体験を通じて地域経済の活性化、文化・伝統の継承という観光の本質を体験してくれる人

19



宿坊復活に向けた先進地視察  
R5.8.24～25:愛媛県大洲市

英彦山地区における宿坊候復活に向けた協議資料

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項	目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
添田公園整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和4年度～令和5年度

支援事業名 県補助事業(福岡県展示林整備事業)

計画に記載している内容 岩石城が立地していた岩石山麓の山谷林泉の美しさを活かして開園した添田公園について、散策路の再整備とともに未整備となっている散策路の整備を行い、快適で安全な歩行空間を整備する。

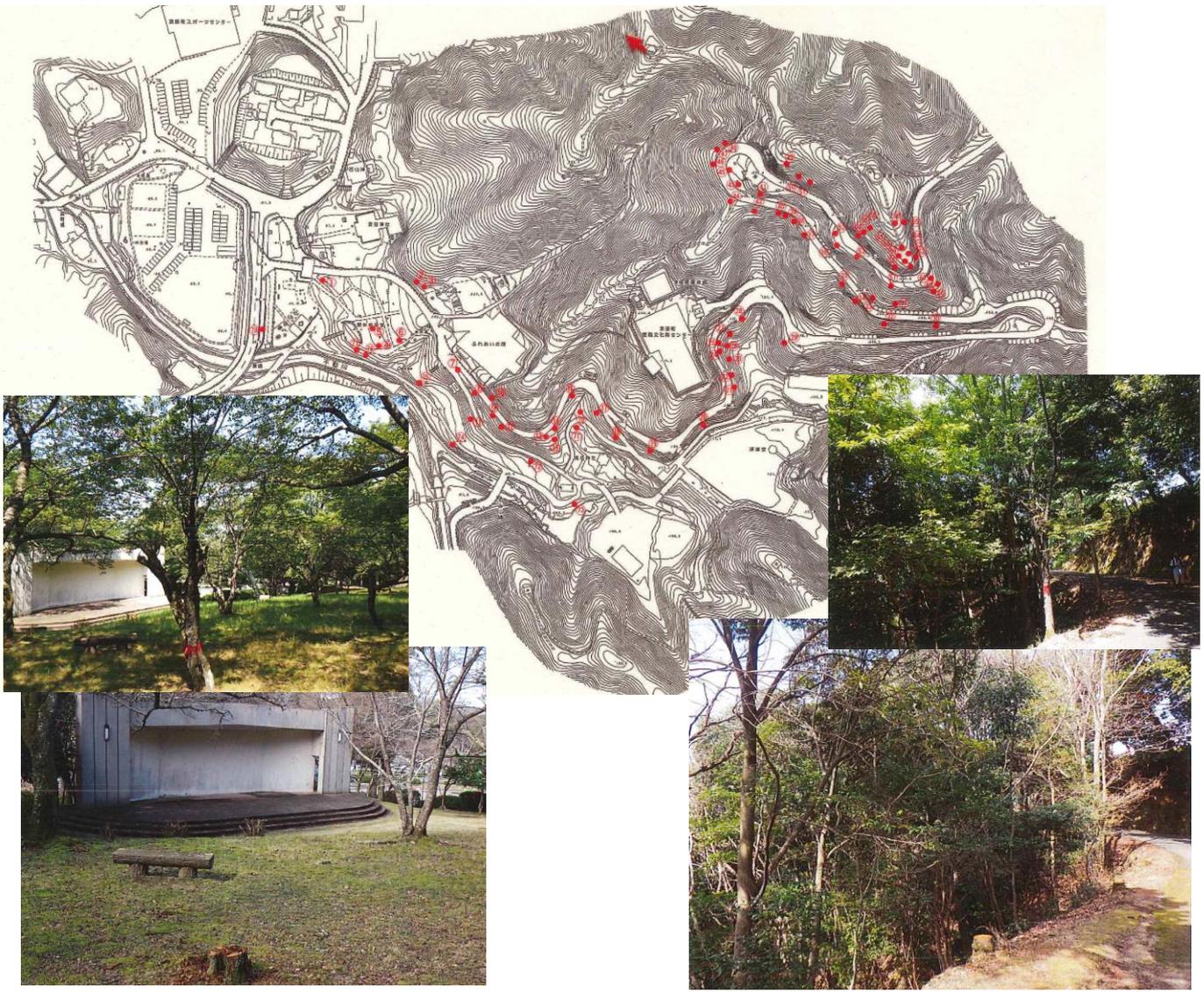
定性的・定量的評価

2,000本余の桜、4,000株余のつつじなどが、四季を通じて彩り、多くの散策・観光客に親しまれている添田公園においては、年間を通じて、清掃・間伐や剪定を行っているものの、開園から90年を超え、枯死した木、枝折れている木などが多数見受けられるようになったため、景観の面だけでなく散策者の安全確保を図るため、危険木の除去を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
------	--------------------

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



伐採・間伐した危険木の位置図と施工前後の写真

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項 目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
公共施設修景整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 特徴的なデザインで、周囲の景観を阻害しているスロープカー花駅(旧英彦山小学校校舎)について、周辺景観と調和した材料・色彩で覆う等の修景整備を行う。

定性的・定量的評価

乗り継ぎの不便さから利用者が少なく、かつレールの老朽化が著しかった幸駅と花駅間を令和5年4月に廃線したものの、令和4年度に更新した新型車両は、英彦山の雰囲気と整合したデザイン性と旧車両より窓部が広がったことにより、利用者からは大変好評を得ている。  
 なお、駅舎(旧英彦山小学校)内部については、応急的な修繕対応を行っているものの、建物の具体的な方針整備方針の決定に至らず、修景整備の実施に至ることができなかった。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該施設の修景整備については、施設利用者や近隣居住者からの要望も強いため、第2期計画期間中での実施を検討する。
--	---

状況を示す写真や資料等



スロープカーの一部廃線区間



旧英彦山小学校内部の床張り替え修繕



更新した新型スロープカー

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項 目		現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物等に設置されている案内板や誘導サインのうち、経年劣化等により風情・景観を阻害しているサインを除去するとともに、未設置の資源及び交通結節点等に、デザイン方針に基づいた案内板等を設置する。

定性的・定量的評価

策定済の添田町公共サインガイドラインに基づき、重点区域である添田本町等区域内に設置2か所、設置1か所、撤去1か所の整備を行った。(令和6年3月〇日竣工)

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和5年度施工箇所

種別	箇所数	施工箇所
設置	3か所	添田本町等憩い広場、添田駅前、薬師如来坐像
撤去	2か所	薬師如来坐像敷地内、添田警部交番下

H27～R5分の進捗率 90.00% R5までの63ヶ所(設置:31+撤去:32)/全体計画:70ヶ所(設置・撤去)



【設置】添田本町等憩い広場



【設置】添田駅前



【設置】薬師如来坐像



【撤去】添田警部交番下

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項 目	現在の状況	
普及啓発イベント事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 本町に点在する歴史文化遺産に対する認識向上と併せて、歴史文化遺産を活かしたまちづくりや歴史的風致維持向上計画の推進のため、勉強会や講演会等を開催する。

定性的・定量的評価

郷土史会(5/19)・英彦山門前町同好会(6/10)や添田町観光ガイドの会(7・29)など、他団体主催の講座に町学芸員が赴き、地元の歴史に関する講演を行い、歴史及び歴史的風致に対する認識向上を図った。  
 また、令和5年4月より指定管理者制度が管理・運営を担っている「国指定重要文化財 中島家住宅」において、指定管理者により、野点や押し花展などのイベント開催により、歴史・文化に身近に感じる機会を創出し、歴史・文化及び歴史的風致への認識向上を図っている。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	昨年に引き続き、町主催の「歴史的風致報告会」の開催することはできなかった。 コロナウィルスが第5類に移行するなど、感染状況も落ち着いたことから、次年度以降は確実に開催できるよう準備を進める。

状況を示す写真や資料等



R5.6.4 野点



R5.9.2 ダンスの発表会



R6.1.21～2.4  
私の好きな一文字作品展



R6.3.22～4.7  
押し花作品展

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項 目	現在の状況	
歴史的古文書保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和5年度

支援事業名 町単独事業

計画に記載している内容 文化財に指定されていない古文書等の補修を行うとともに、デジタルデータ化し後世への継承と歴史文化遺産を活かしたまちづくりに活用を図る。

定性的・定量的評価

明治初期の町全体の土地の状況面積や形状を表し字図の原型である「大絵図」については、町の道路事業などの開発行為を行う際の土地調査などに活用されているが、年々、劣化が進行しているため、現状及び劣化状況の調査を行った。また、英彦山上宮の保存修理工事に関連して、近隣の坊舎に残る英彦山神宮関連の古文書調査を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
------	--------------------

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「大絵図」については、年々劣化が進行しているため、早期に修復及びデジタル化による活用ができるよう、関係各課と協議・準備を進めていく。
--	--

状況を示す写真や資料等



「大絵図」破損状況の調査



英彦山坊舎に残る上宮関連の古文書

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
民俗芸能文化財等伝承支援事業・まちづくり団体育成支援事業・ まちづくり団体設立支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成27年度～令和5年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

【民俗芸能文化財等伝承支援事業】  
神幸祭等の祭礼や神楽等の伝統芸能を行っている活動団体に対して、活動の維持や後継者育成に資する活動経費に対し、助成金を交付し支援する。

【まちづくり団体育成支援事業】  
本町に点在する歴史文化遺産の保存のための活動や、歴史文化遺産を活用した活動を実践している団体に対し、活動経費を助成することにより、保護・活用の取り組みを推進・支援する。

【まちづくり団体設立支援事業】  
歴史文化遺産を活かしたまちづくりを推進するには、行政の取り組みだけでなく地域住民等との協働による取り組みが必要不可欠であるため、歴史文化遺産の保存・活用に係る文化財保護・まちづくり団体の設立を支援する。

定性的・定量的評価

「まちづくり団体設立支援事業」は、平成27～29年度で実施済みであり「まちづくり団体育成支援事業」については、事前の補助金活用要望調査を行ったものの要望がなかった。  
高齢化等による参加者減少により神輿巡行が危ぶまれた地区において、担いでいた神輿を参加者の負担軽減及び少人数でも巡行するための台車の製作及び参加者増に向けた検討会の実施に「民俗芸能文化財等伝承支援事業」が活用された。  
また、「まちづくり団体設立支援事業」で設立され、令和2年度まで「まちづくり団体育成支援事業」を活用していた『英彦山門前同好会』では、空き坊舎や参道の清掃と併せて、「参道マルシェ」や「宿坊体験&ヨガin英彦山」等のイベント実施など自立した活動を行えている。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



民俗芸能文化財等伝承支援事業の状況



10/28 「宿坊体験&ヨガ」in英彦山



12/19 坊舎・参道の清掃活動

英彦山門前同好会の活動内容

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項	目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
児童・生徒に対する意識向上推進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 町内の小・中学校と協力しながら、後世への伝承者である児童・生徒に対し、添田町の歴史や歴史文化遺産に関する授業に取組むためテキストを作成するとともに、授業への学芸員等の派遣や文化財の現地見学等により、本町の歴史文化への意識向上に資する取組みを実施する。

定性的・定量的評価

平成26年度に作成した歴史テキスト「知ってる 添田町」については、各小学校において授業での利用と併せて、図書館に配備するなど活用されている。  
 また、町内の小学校との連携により、歴史や文化財のフィールドワークに学芸員が赴き、児童・生徒の文化意識向上に繋がるよう取り組んでいる。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



添小6年生による旧数山家住宅の見学(9/12)



添小5年生による英彦山修験道館宅の見学(9/25)



添小3年生による旧数山家住宅の見学(2/27)

令和4年度進行管理・評価シート  
文化財の保存又は活用に関する事項

項	目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
民間団体への助成・支援			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 指定文化財の修理は、文化財保護法や福岡県、添田町の文化財保護条例に基づくとともに、文化庁や福岡県教育委員会、福岡県文化財保護審議会、添田町文化財専門委員会等の関係機関の指導を仰ぎつつ、それらと連携して実施する。また、所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。

定性的・定量的評価

【英彦山神宮による上宮修復に係る補助金支援】  
 英彦山神宮において、文化庁等の補助金を活用し、令和4年度から保存修理工事に着手している英彦山中岳山頂にある上宮について、令和5年度は、宝殿の基礎据え直しを含めほぼ完了しており、町においては、助言とともに添田町文化財保護条例に基づく補助金により、費用の一部支援を行った。

【中元寺薬師如来等防犯設備修繕及び維持管理に係る補助金支援】  
 県指定文化財「木造薬師如来坐像及び台座」、町指定文化財「十二神将12体」の防犯設備の一部が故障していたため、維持管理に加え、防犯設備修理事業について、添田町文化財保護条例に基づき支援を行った。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



左：拝殿の養生



中：拝殿屋根の修理の様子



右：基礎石の調

英彦山神宮上宮修復工事



屋外の防犯カメラと映し出す画像



屋内の防犯カメラ



防犯カメラの映像を映すモニター

中元寺薬師如来等防犯設備修繕

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
町指定文化財(史跡)の指定 野田の高札場		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
 本町では、このような町内各地に眠る数多くの未指定の歴史・文化遺産を掘り起こし、活用することを趣旨とする「添田町歴史文化遺産活用まちづくり基本構想」を策定しており、この基本構想に基づき施策を展開している。今後も、地域に存在する指定・未指定の文化財の実態を把握する取組みを進めるとともに、本計画における保存・活用の方策を講じる他、文化財として新たに指定すること等により、文化財の保護を図る。

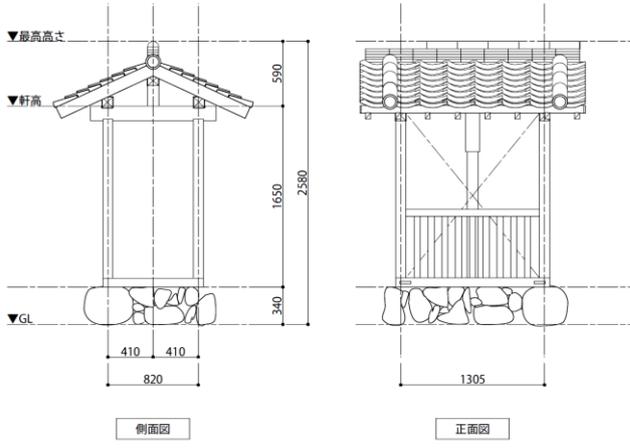
定性的・定量的評価

高札場とは、江戸時代に法令や禁令の徹底を図るため、交通の要所などに建てられていたものである。「野田の高札場」は、建築年代は不明ながらも遅くとも慶応4年(1868)までには建てられていたと考えられ、全国的にみても当時の姿を残す事例は少なく、本町における小倉と日田を結ぶ主要路の歴史交通網を考えるうえで貴重な史料であることから、高札2枚とともに、令和6年3月29日に町指定文化財(史跡)に指定された。

進捗状況 実施・検討にあたっての課題と対応方針

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



立面図



高札 2枚



正面



背面

令和4年度進行管理・評価シート  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
英彦山花ごよみ など四季の植物 (英彦山ミツマタ満開、英彦山梅雨の花々 など)		R5.4/3、4/20、 5/27、6/22、 7/29、3/2	西日本新聞、毎日新聞
英彦山神宮の祭礼 (神幸祭、御池浚い、松柱神事、上宮保存修理工事)		4/11、7/22、 R6.1/3、1/28、 1/29	西日本新聞、読売新聞
英彦山神宮上宮改修工事		5/4	西日本新聞
諏訪神社遷座祭		6/22	西日本新聞
照ノ富士関奉納土俵入り		11/6、11/10	読売新聞、西日本新聞
修験道の復活 英彦山に集まる思い		12/12	朝日新聞
霊峰 英彦山 復活へ		12/20	NHK北九州
歴まちコラム ～歴史と文化のふる里探訪～			
町に伝わるお蝶の悲運 「お蝶ヶ淵」の伝承		令和5年4月号	町広報
中元寺に残る伝承 「カツパの詫び証文」		6月号	
能の演目にある 添田町の民話「花月」		8月号	
浄瑠璃の演目に「彦山」の名 人気の毛谷村六助伝説		10月号	
金太郎は英彦山の山伏!? 能の演目「大江山」		12月号	
鞍馬天狗にも登場 不思議な力を持つ英彦山		令和6年2月号	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナウイルスが第5類に移行したことで、町内各地のイベントも再開されたことに伴い、徐々に新聞等の掲載件数は増えてつある。

また、町広報において、本町の歴史・文化を紹介する「歴まちコラム」は、平成27年から隔月で掲載し続けており、本町の歴史・文化の周知の一躍を担っている。

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

皆

鞍馬天狗にも登場  
不思議な力を持つ英彦山

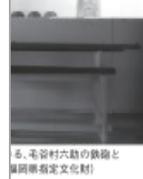


能の演目「大江山」

金太郎は英彦山の山伏!?



浄瑠璃の演目に「彦山」の名  
人気の毛谷村六助伝説



能の演目にある  
添田町の民話「花月」



中元寺に残る伝承  
「カツパの詫び証文」



町に伝わるお蝶の悲運  
「お蝶ヶ淵」の伝承



町広報に掲載した『歴まちコラム』

R6. 2月号

R5. 12月号

10月号

8月号

6月号

4月号

著作権保護のため、新聞記事は掲載していません。

項目

「添田町歴史的風致維持向上計画」掲載事業の進捗状況

計画に記載している内容 (計画に記載なし)

定性的・定量的評価

「添田町歴史的風致維持向上計画」に掲載している21事業の令和5年度末における進捗状況としては、完了事業が8事業あり、次期計画においても継続べき事業が10事業と見込まれる。

進捗状況

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

予定された事業のうち、完了及び次期計画でも継続すべき事業を除く3事業のうち、「添田公園整備事業」については、今後、他計画で実施することとしているが、「中村家住宅保存活用整備事業」、「眺望広場整備事業」については、事業実施可否を含めた大幅な見直しが必要。

状況を示す写真や資料等

事業名		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	状況
英彦山神宮参道保存整備事業	計画											完了
	実績											
中島家住宅保存活用計画策定事業	計画											完了
	実績	完了										
中島家住宅保存修理事業	計画											完了
	実績											
中島家住宅活用整備事業	計画											次期に継続
	実績											
中村家住宅保存活用整備事業	計画											事業見直し
	実績											
英彦山区域歴史的風致形成建造物修理事業 添田本町等区域歴史的風致形成建造物修理事業	計画											次期に継続
	実績				→							
添田公園整備事業	計画											他計画で実施
	実績											
公共施設修景整備事業	計画											次期に継続
	実績											
眺望広場整備事業	計画											事業見直し
	実績											
英彦山神宮参道修景整備事業	計画											完了
	実績											
英彦山地区再興整備方針策定事業	計画											完了
	実績			完了								
案内板等デザイン方針策定事業	計画											完了
	実績	完了										
案内板等整備事業	計画											次期に継続
	実績											
添田本町・岩石山・添田公園周遊マップ作製事業	計画											完了
	実績		完了									
普及啓発イベント事業	計画											次期に継続
	実績											
歴史的古文書保存活用事業	計画											次期に継続
	実績											
民俗芸能文化財等伝承支援事業	計画											次期に継続
	実績											
まちづくり団体設立支援事業	計画											完了
	実績				完了							
まちづくり団体育成支援事業	計画											次期に継続
	実績											
児童・生徒に対する意識向上推進事業	計画											次期に継続
	実績											

: 実施済       : 協議・助言・指導等

評価対象年度	令和5年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称	第21回 添田町歴史的風致維持向上計画推進協議会
会議等の開催日時	令和6年3月26日(火) 13時30分～15時00分
<p>(コメントの概要)</p> <p>Q1: 設置されていた「しゃくなげ荘」など既に廃止されている施設への誘導サインは、どのような対応をしているのか?</p> <p>Q2: 「歴史的古文書保存活用事業」もあるが、古文書の調査などは、どのように対応しているのか?</p> <p>Q3: 英彦山には、個人が持っている各坊の史料がいくつか残っている。他の地域にも歴史的価値があると思われる史料もあると思うので、散逸しないように留意して欲しい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>A1: 廃止された施設から運営中の施設への書き換えやサイン自体の撤去などで順次対応している。</p> <p>A2: 取り組んでいる事業と絡めつつ古文書の調査・整理を進めている。現在は、英彦山神宮上宮補修工事に関連して、上宮にかかわる史料を整理しており、その成果は、今後の歴まちコラムのなかで紹介していく予定である。</p> <p>A3: 各所有者から史料の保存にかかわる相談が、年に数件程度寄せられており、その際は、調査と併せて、町にとって価値を有すると判断される古文書については、寄贈や寄託をお願いしており、大部分の所有者から承諾いただけており、散逸を防いでいる。</p>	